

JILPT 資料シリーズ

No.128 2013年11月

中小企業における若年者雇用支援施策の利用状況 (若年社員ヒアリング調査報告)

中小企業における若年者雇用支援施策の利用状況 (若年社員ヒアリング調査報告)

ま え が き

昨今の景気回復により、若年者の雇用状況は足下では改善している。しかし今日の若年者雇用の問題は構造的かつ長期的な背景から生じていることに加え、学校卒業時に円滑に就職できなかったものは適切なキャリア形成や職業的自立等の面でその後の職業人生において大きな困難を抱える可能性があり、常に取り組み続けるべき課題の一つであるといえよう。そのため政府は様々な若年者雇用支援施策を実施してきた。これら制度の効率的・効果的な運用のためには、現行制度の活用状況、およびそれら制度の及ぼした影響・効果について現状を把握し、改善策を検討していく必要がある。本研究は以上の問題意識にもとづき、実際にこれら制度を活用して主に中小企業へと就職していった若年者にヒアリング調査を実施した結果をとりまとめたものである。具体的には、どのような若者がどのような経緯でどの若年者雇用支援施策を利用しているのか、様々な若年者雇用支援施策を利用することは、若年者の就職活動や就職後のキャリアにどのような影響を与えているのかといった問題意識からとりまとめている。さらにはその分析結果をもとに、若年者に対する雇用支援をいかに発展させていくべきか、提言を行っている。本研究が、若年者および中小企業に対する雇用支援政策のさらなる発展の手がかりとなれば幸いである。

最後に、本研究にご協力頂いた、多数の企業の若年社員および採用担当者の方々、各地労働局の皆様方へ厚く御礼を申し上げます次第である。

2013年11月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆章
いわわき ちひろ 岩脇 千裕	労働政策研究・研修機構 副主任研究員	第Ⅰ部 第Ⅱ部（共著）
たかく さとし 高久 聡司	目白大学 専任講師	第Ⅱ部（共著）
くわはら のりえ 桑原 教恵	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員	第Ⅱ部（共著）

調査の企画・実施（平成25年4月1日現在）

「若年者の安定的な雇用への移行に関する調査研究」委員会（五十音順）

岩脇 千裕	労働政策研究・研修機構	副主任研究員
金崎 幸子	労働政策研究・研修機構	統括研究員
桑原 教恵	労働政策研究・研修機構	臨時研究協力員
小杉 礼子	労働政策研究・研修機構	特任フェロー
新谷 康浩	横浜国立大学	准教授
高久 聡司	目白大学	専任講師
堤 孝晃	労働政策研究・研修機構	臨時研究協力員
永野 仁	明治大学	教授
眞鍋 倫子	中央大学	教授
吉田 崇	静岡大学	准教授

目 次

序	1
第Ⅰ部 調査結果の概要	7
第1章 調査対象者のプロフィール	9
第2章 若年者によるハローワーク利用状況の概要	13
第3章 各支援施策・制度の利用状況	17
第1節 新卒応援ハローワーク	17
第2節 ジョブサポーター等による職業相談	28
第3節 就職面接会	34
第4節 3年以内既卒者トライアル雇用奨励金	36
第5節 試行雇用奨励金（若年者等トライアル雇用）	42
第6節 公的職業訓練	48
第4章 若年社員の職場への定着に向けて	50
第5章 政策的インプリケーション	54
第Ⅱ部 資料	61
ヒアリング票	203